

一級自動車工学科・自動車整備科			2026年度 授業計画			
時期	1年A巡	単元	学科	教科名	基礎工学A	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	三級自動車整備士（総合）		発行日	2025.04.01
総時限	13時限		授業ノート		教科 担当	安生 人見 仲田 内川
総時間	20.8時間		JAMCA 自動車材料			
単位数	1					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車整備士として、自動車整備の実務経験がある教員により自動車の基礎、材料等及び工具の使い方について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
<ul style="list-style-type: none"> ① 工具の名称、基本的な使い方を学ぶ。 ② 自動車整備作業の目標、基礎整備作業について学ぶ。 ③ 自動車の概要を学ぶ。 ④ 機械要素及び材料について理解する。 ⑤ 自動車に関わる基礎的な原理・法則を理解する。 						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
<ul style="list-style-type: none"> ① 個人工具の確認及び、各々の工具の使用方法を覚える。 ② 自動車整備作業の目標、基礎整備作業について理解する。 ③ 自動車の歴史を学び、また、自動車の分類を理解する。 ④ 自動車の基本的な機械要素及び材料を理解する。 ⑤ 自動車を学ぶ前段として、熱、燃焼及び摩擦力といった基礎を理解する。 						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。 						
5. 準備学習						
入学前プログラムの学習内容を復習しておく。						
6. 学修時間と単位						
<p>本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。</p> <p>1単位の修得に必要な学修時間の目安は、15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間である。</p>						

